

令和7年度 第7回瀬戸内市地域公共交通会議 会議録要旨

開催日時：令和8年3月10日（火） 13時30分～15時40分

開催場所：瀬戸内市中央公民館 実習室

出席委員：大東会長（ノートルダム清心女子大学 人間生活学部）

村山副会長（瀬戸内市副市長）

平本委員【代理：新谷氏】（両備ホールディングス（株））

河田委員【代理：千草氏】（牛窓タクシー）

尾崎委員【代理：近藤氏】（（有）ツルヤタクシー）

坂本委員【代理：重田氏】（（有）ネイチャーワールド自動車）

中尾委員（瀬戸内市老人クラブ連合会）

谷田委員（瀬戸内市PTA連合会）

栃折委員（西日本旅客鉄道(株)中国統括本部岡山支社）

三枝委員（一般社団法人瀬戸内市緑の村公社）

宮地委員（中国運輸局岡山運輸支局）

境野委員（岡山県県民生活部交通政策課）

出射委員【代理：下山氏】（備前市市長公室交通政策課）

馬越委員（瀬戸内警察署）

出席委員 14名

委任状提出委員 6名

事務局：総合政策部 平井（部長）

企画振興課 服部（課長）、寺本（主任）、鈴木（主事）

文化観光課 河本（参事）

建設課 近藤（課長）

1. 開会

2. 会長あいさつ

- ・第2次瀬戸内市地域公共交通計画の策定について、前回頂いたご意見やパブリックコメントの内容を反映し、詳細な内容が定まったため、本日はこれについて協議いただきたい。
- ・今週の土曜日から赤穂線の増便が始まるため、鉄道と市内の公共交通をうまく連携させていくことを今後検討していきたい。
- ・忌憚のないご意見をいただき、今後の公共交通の発展に繋げたい。

3. 報告事項

(1) 市営バス事業について

【質疑・意見等】

- ・特になし

(2) 観光定期バス事業について

【質疑・意見等】

- ・令和8年8月からの実証実験の期間はどの程度か。
→状況を見ながら、まずは1年間実施できればと現時点では考えている。
- ・観光バスについても、JRとの接続やダイヤの工夫について検討頂きたい。また、運賃の支払い方法は、市営バスと同様にキャッシュレス決済の導入を予定するのか。
→運行事業者はプロポーザルにて公募し、最も優れた提案内容に決定することを考えており、現時点で運賃の支払い方法は未定である。

4. 協議事項

(1) 第2次瀬戸内市地域公共交通計画の策定について

【質疑・意見等】

- ・公開資料一覧の中の「地域公共交通計画の概要版」について、市の広報誌に折り込む事例もあるため、市民の皆様には日々届くところに配布すること等を検討していただきたい。
- ・追加された「バス・タクシー運転者数の状況」について、具体的な取り組みはどのようなものを想定しているのか。また、事業者が運転手を募集するにあたり、市の公共交通事業

- に携わっていることをハローワーク等に出せない等の課題がある。
- 具体的な対応は今後関係者の皆様と相談しながら進める。計画に運転手不足の課題を明記することで、行政や事業者など地域全体で対策を考える共通認識としたい。
- ・5年後以降、ドライバーの人材確保がさらに困難になると予想される。適性に応じた採用を事業者は考えており、市営バスの年齢制限の緩和等検討していただきたい。関係者間で、人の確保がどれだけ大変なことかを共有して頂き、事業者に対して協力、対応方法の提案など頂ければ助かる。
- 情報を共有しながら、より良い方法を考えていきたい。
- ・運転者不足は全国的な問題である。本日、地域公共交通の活性化及び再生に関する法律の改正案が閣議決定され、既存の交通事業者だけでなく、自家用有償旅客運送や施設の送迎車両の活用など地域の輸送資源をフル活用するための事業等を盛り込んでいる。一体となって地域の足を確保していく方向で国も動き始めているため、今後の事業検討の参考にしていただきたい。
 - ・美和線の利用者数の実績が目標値に届いていないが、目標値が高すぎるのではないか。
- 令和5年度に目標値を見直しており、利用者数の伸びが大きかったため、より高い目標値を設定した経緯がある。
- ・長船北線はどこを走っている路線か。
- 邑久駅から出発し、長船駅や刀剣博物館を経由し船山まで運行しており、赤穂線沿いに伸びている路線である。
- ・虫明・長島愛生園線の利用者数が非常に多いが、どのようにカウントされているのか。乗降でカウントしているのか。
- 乗車された方の数を1乗車としてカウントしている。
- ・タクシー利用券の交付枚数の実績値が、申請者数に上限である72枚をかけた数より少なくなっており、数値に誤りがあるのではないか。
- 年度途中で申請された方には、年度末までの残りの月数×6枚で交付しているため、実績として正しい数字である。
- ・タクシー利用券の未利用分が多く残っている。使い切れるように利用促進を図ってほしい。少しでもタクシー事業者への支援になるよう考えて頂きたい。
 - ・長浜にある停留所（小津）に屋根と固定された椅子が設置されている。この整備は誰が行ったものか。高齢者の利用促進のため、可能な場所には同様の整備をしてほしい。
- この停留所は、以前に両備バスが整備したものを引き継いで利用している。利用促進策として引き続き停留所整備は検討していきたい。

(2) 新計画の移行に伴う地域公共交通確保維持改善事業について

【質疑・意見等】

- ・具体的に何が変わるのか。
- 前計画から新計画に変わることに伴う国庫補助事業への事務的な変更手続きであり、路線や利用者にとって実質的な変更はない。

5. その他

- ・4月1日から前島フェリーの運航ダイヤを大幅に変更する。利用者減少と人手不足により、始発便は牛窓発を6:30から6:55へ、最終便は牛窓発を21:10から20:10へ変更する。事業計画の認可も既に済んでいる。
- 4月発行の公共交通マップにも新しい時刻表を反映している。

6. 閉会

- ・第2次瀬戸内市地域公共交通計画が承認され、来月から具体的に動き出す。今後もバス停の整備等を含め利便性の向上に努め、本計画に基づき5年間の公共交通の未来を切り開いていきたい。

以上